



CHALLENGE SPH SPH通信 第4号

「チーム高農 新たな挑戦！」 H30.11.27

①全国産業教育フェア山口大会への参加

10月22・23日に行われた全国産業教育フェア山口大会に本校から2名の生徒が参加しました。本校が現在取り組んでいるSPHの活動について、パネルを活用して発表しました。また、大会には、全国から23校のSPH研究指定校が参加しており、他校の取組についても知ることができました。

●パネル発表で質問されたことと、その返答。

1 Q：SPH研究指定校に指定されて変化したことは？

A：「会社経営」についての授業や講演会が実施されていることです。本校オリジナルの教材を活用した「株式会社の基礎学習」や地元経営者の講演が実施されています。

2 Q：GAP認証取得に向けて取り組んでいることは？

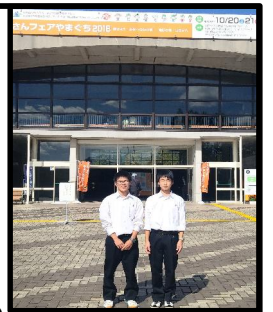
A：宮崎県版「ひなたGAP」の認証取得に向け、服装の徹底や農場の整理整頓、実習内容の記録等に取り組んでいます。

3 Q：商品開発の取組で変化したことは何か？

A：食品乾燥機の活用や学科間連携を行い、商品開発を行っています。畜産科学科で生産された牛乳や豚肉を使い、チーズや油味噌の新商品ができました。

4 Q：コンソーシアム方式ではどのような取組が行われていますか？

A：一例として、本校園芸科学科野菜経営研究班が県立農業大学校と連携し、省力化培土によるプロジェクト学習に取り組んでいます。



大会では、フラワーアレンジメント競技会や福祉競技会も行われていました。

園芸科学科3年生 藤本亮太君の感想

大会に参加して感じたことや気付いたことを本校での取組に生かすことができるように後輩に引き継いでいくことが大切だと感じました。

園芸科学科2年生 坂口健志郎君の感想

他校の研究発表を聞くことができ大変参考になりました。来年は本校が発表を行うので、今回学んだことをこれからの活動に生かしたいです。

本校と交流のある福岡農業高校をはじめ、多くの学校の研究成果発表を聞くことができました。



②取組紹介

●研究の柱1【高農ブランド新商品開発】



← ゴ|ダチ|ズを燻煙している様子

畜産科学科と食品科学科の連携した取組
「本校産牛乳を使用したチ|ズの製造」

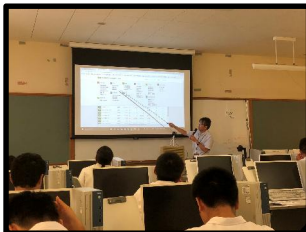
完成したクリ|ムチ|ズ



食品科学科3年 甲斐萌未さんの感想

ただ作るのではなく 課題を見つけ解決することの大変さを知りました。これからも魅力あるものを作り 消費者に届けたいです。

●研究の柱2【模擬会社「高農」の構築】



← NECの方に来校していただき ICTを活用した生産原価管理について講義をしていただきました。

園芸科学科の取組
「ICTを活用した原価計算管理と生産工程管理についての学習」

綾町にある福富農産で実際に利用されているシステムを見学しました。



園芸科学科3年 米良和真君の感想

授業で学んだことを実際に活用されている現場で目にすることができ とても有意義な研修でした。私も将来は自分の農場にこのようなシステムを導入してみたいと感じました。

●研究の柱3【キャリア教育の推進】



← 1年生を対象に「自分の人生にとって仕事とはなにかを考える」をテーマに講演していただきました。

明倫寮の取組
「寮教育を通じたキャリア教育の充実」

2年生を対象に「職種の傾向を知る」をテーマに講演していただきました。



畜産科学科1年 松山愛樺さんの感想

今回の講座では人生設計の重要性を学ぶことができ 自分の将来について考える良い機会となりました。

広報宣伝部

部長 園芸科学科2年 田爪鴻太郎
副部長 園芸科学科2年 坂口健志郎

次回予告 『即売会を終えて』